

報道関係各位

2020年2月27日

日本総合健診医学会第48回大会でランチョンセミナー開催 新たな大腸がんリスク因子コリバクチン検査に大きな反響

生活習慣のミスマッチをなくす郵送検査の研究・開発を行うバイオベンチャーの株式会社ヘルスケアシステムズ（本社：愛知県名古屋市、代表取締役：瀧本陽介）は、2020年2月7日（金）～8（土）に京王プラザホテル（東京都新宿区）にて開催された『日本総合健診医学会 第48回大会』に出展しました。自社初となるランチョンセミナーには130名を超える方にご参加いただき、大盛況のうちに終了いたしました。

展示ブースにおいても健診施設・医療関係者の方が多く訪れ、大腸がん患者の約7割が保有するコリバクチンを検出する検査方法や検査の導入について多くのご質問が寄せられ、セミナー後のアンケートによると、50以上の医療機関様に「採用を希望する」というご回答をいただきました。新年度のご採用に向けて鋭意進めて参ります。



ランチョンセミナーの様子



展示ブースの様子

■ランチョンセミナー概要

座長：福武勝幸先生（一般社団法人日本総合健診医学会 理事長／東京医科大学 医学部医学科 特任教授）

セミナーテーマ①「大腸がんリスク因子コリバクチン産生菌の臨床的検出法」

講師：渡辺賢二先生（静岡県立大学 薬学部 教授／株式会社アデノプリバント 取締役）

（以下一部抜粋）

- ・大腸菌が産生する発がん物質コリバクチン
- ・静岡県立大学渡辺研究室によるコリバクチン研究
- ・遺伝毒性物質コリバクチンの推定化学構造および生合成メカニズム
- ・コリバクチン検出プローブの開発と陽性／陰性の検定
- ・アデノプリバント社のコリバクチン検査サービスの流れ

報道関係各位

2020年2月27日

セミナーテーマ②「大腸がん死亡率を減少させるために必要なこと」

講師：内藤裕二先生（京都府立医科大学大学院医学研究科 消化器内科学 准教授）

（以下一部抜粋）

- ・大腸がん発症率・死亡率の世界的動向
- ・アメリカに学ぶ大腸がん対策
- ・腸内フローラと大腸癌の発生および進展との相関性
- ・世界中で始まる大腸内視鏡スクリーニング

コリバクチン検査は静岡県立大学発ベンチャー株式会社アデノプリバントとヘルスケアシステムズによる健診機関を対象としたサービスです。

株式会社ヘルスケアシステムズ

設立：2009年3月

本社：〒464-0858 愛知県名古屋市千種区千種 2-22-8 名古屋医工連携インキュベーター105

東京オフィス：〒105-0004 東京都港区新橋 4-6-15 日新建物新橋ビル 7F

業務：郵送検査事業、バイオマーカーの研究開発、機能性食品の臨床試験・受託研究、健康経営支援

URL: <http://hc-sys.jp> <https://karadacheck.com>

本リリースの問合せ：株式会社ヘルスケアシステムズ 高実子（たかじつこ） pr@hc-sys.jp